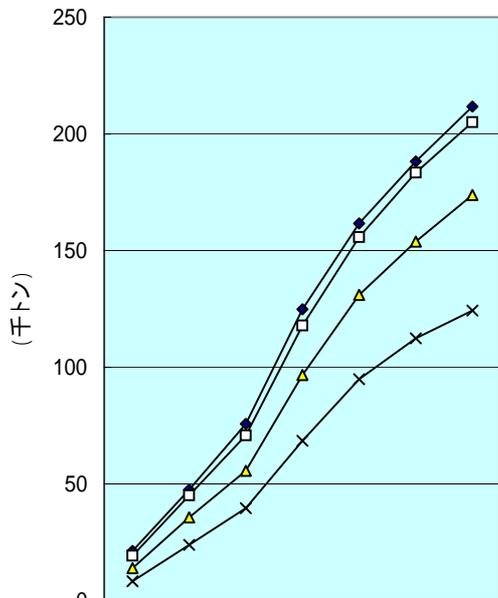


4. ペットボトル

平成9年度の施行後、再商品化量、実施市町村数とも急激に増加しているが、独自処理を行う市町村も増加傾向にある。

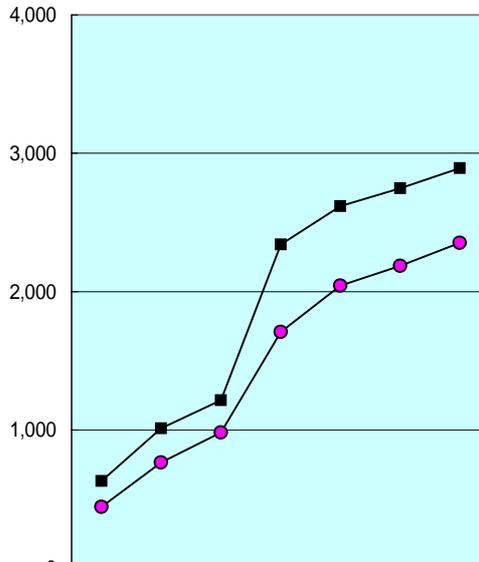
平成9年度に57%であった指定法人ルートの収率(製品販売量/引取量)は年々上昇し、70%台まで至っており、再商品化効率が図られてきたと言える。

【再商品化量推移】



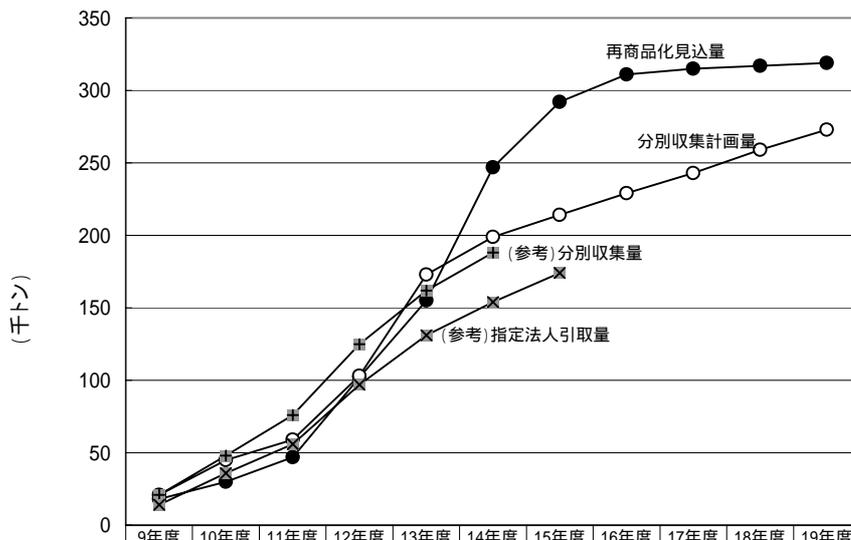
	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
● 市町村分別収集量	21	48	76	125	162	188	212
□ 市町村再商品化量	19	45	71	118	156	183	205
▲ 指定法人引取量	14	36	56	97	131	154	174
× 指定法人製品販売量	8	24	40	69	95	112	124

【実施市町村数推移】



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
■ 分別収集市町村数	631	1,011	1,214	2,340	2,617	2,747	2,891
● 指定法人引取数	443	764	981	1,707	2,042	2,186	2,351

(参考)再商品化見込量、分別収集量の推移



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
● 再商品化見込量	18	30	47	102	155	247	292	311	315	317	319
○ 分別収集計画量	21	45	59	103	173	199	214	229	243	259	273
■ (参考)分別収集量	21	48	76	125	162	188					
× (参考)指定法人引取量	14	36	56	97	131	154	174				